

皮籠石の由来とさまざまな石

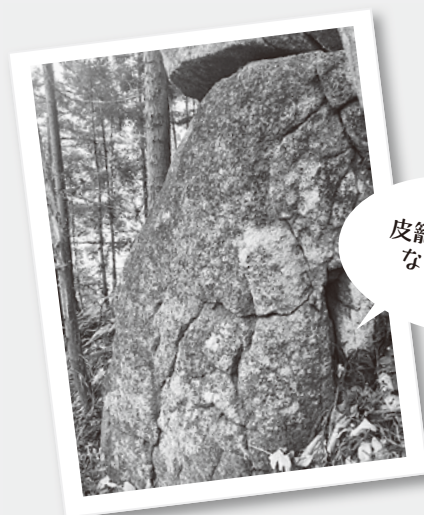


カブ主総会で
なすびさんと!

地域おこし協力隊の菅原です。

最近蒸し暑い日々が続いていますね。5月に三春町で行われたカブ主総会(HONDAの二輪車、カブのこと)に参加した際は、あまりの暑さに参ってしまいました。

さて今回の活動記のテーマは「石」。以前の記事で、皮籠石の地名の由来は籠石という石から、という町史の記載を抜粋しましたが、今回地元の方の協力で実際に見ることができました。



皮籠石の由来と
なった籠石!

「前面は^{しゅうしょう}低く低下して溪流に臨み三面は緑杉枝に(以下略)」とあるように、杉に囲まれた場所にありました。大石の上に大石が乗り、まるで荷物を入れた籠のよう。近くに「蛇なめ石(町史では「蛇ねぶり石」)」という石も。蛇に舐められたように石がえぐられていて、おもしろいです。

また高柴山に登った際に見たのは、物見石と太鼓石。どちらも立派な大石でした。

小野町には名前のついた石やそれにまつわる伝承がまだまだたくさんあるようです。これからも探していきます!

3年間の経験を生かして次のステージへ

古崎さんが協力隊の任期満了

古崎泰介さんが、任期満了に伴い5月31日をもって地域おこし協力隊としての活動を終えました。

古崎さんは商工振興担当として平成26年6月に協力隊に着任し、商工会が関わるさまざまなイベントに携わってきたほか、町内産のそば粉を使用した新名物「おのまち小町ガレット」の開発や首都圏で開催された移住関連イベントでの積極的な情報発信など、多くの活動で町を盛り上げていただきました。

隊員としての活動は終了しましたが、今後も町に定住し、3年間の活動を生かしつつ、次のステージに進まれます。

古崎さんのますますのご活躍を紙上よりお祈り申し上げます。



退任された古崎さん